

【熊本 S.J.C.D.例会 抄録】

演題 単独補綴物の審美性改善に苦慮した一症例

演者名 鶴田 善久

日付 2009年3月24日

Keywords

- 1 歯牙漂白
- 2 単独歯の審美
- 3 メタルポストの問題点

抄録

2008年8月に上顎前歯部の審美性の改善を主訴に来院された32歳の女性の患者さんです。

21は失活歯で1には不適合な硬質レジン前装冠が装着されており、2は歯牙の変色をきたしていました。まず2に歯牙漂白（ウォーキングブリーチ法）を施し、周辺の歯牙の色調とほぼ同じになったところでレジン充填を行い、その後1の前装冠を除去しプロビジョナルを装着し、歯牙の形態、周辺組織の診査を行い、2ヵ月半後に最終補綴物を装着しました。しかしながらメタルポストコアの影響からか歯頸部周辺の色調がやや黒ずんで見えるようになり、審美性に関しては疑問が残る結果となりました。

このようなケースの場合、どのように対応すればよかったのか、経験豊富な先生方のみならず若い先生方からもご意見を伺い、今後の診療に役立てたいと思います。よろしくお願ひします。